

編集後記

● 今月の姫井先生の連載では、「女性が働きやすい環境」が取り上げられているが、東京都議会で複数の議員による問題発言があり、謝罪するという事件が起きた。1人の議員だけの謝罪と二度と起こさないという決議で幕引きとなった。しかし一度でも起きることが問題で、それが「日本の首都」で起きたことが恥ずかしい。それも周囲から指摘されて初めて問題となったあげくのこた。なぜその場ですぐ問題とならなかったのか。およそ「ハラスメント」行為や発言は、した側やその周囲の者に「問題意識が希薄」という共通点がある。今回の問題は「パワハラと構造は同じ」なのだ。

(杉之尾)

● 特集では「子どもとメディア」を取り上げましたが、情報過多な時代を生きてのはわれわれ大人も同じこと。情報の質を見極めるリテラシーを身につける重要性を再認識しました。**検索**ボタン1つ押せば溢れてくる情報に頼り過ぎず、まずは自分の頭の中の考察ボタンをクリックしたいものです。

(和田)

特集

平時からの防災・減災 要援護者の避難支援に向けて

地域で取り組む災害時要援護者対策 立木茂雄

災害時の要援護者避難支援に備えた平時からの
保健師活動 渋谷美智子

要援護者対応を意識した平時からの保健活動
「大規模災害における保健師の活動マニュアル」を踏まえて
松本珠実

三条市における災害時要援護者避難支援と保健師の役割
水害経験を踏まえて体制を見直す 村上祥子

神戸市における災害時要援護者避難支援と保健師の役割
「在宅人工呼吸器装着患者の支援」と「不発弾処理における
避難支援」で活きた体制を中心に 田中由紀子

要援護者避難支援に必要な地域の「共助力」を高める
住民による地区独自の災害時避難マニュアルの作成 長谷川理

難病療養者への平時からの支援
長野県の災害時個別支援計画作成から見えてきた
保健所の変化と課題 高橋宏子／奥野ひろみ

特別記事

がん患者の治療と仕事の両立に向けた課題とは
東京都「がん患者の就労等に関する実態調査」を踏まえて
村田由佳

Photo & Pick Up

教育・保健・医療の連携による地域精神保健の取り組み
YESnet(四日市早期支援ネットワーク)の実践を通して
宮越裕治ほか

保健師ジャーナル 第70巻8号 2014年8月10日発行(毎月1回10日発行)

発行：株式会社医学書院 代表者 金原優 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd, 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2014, Printed in Japan

1部定価：本体1,400円＋税

2014年年間購読料(税込、送料弊社負担)：冊子版15,420円 冊子＋電子版/個人18,420円 冊子＋電子版/共有20,700円

電子版/個人15,420円 電子版/共有17,700円

販売部：☎(03)3817-5659 保健師ジャーナル編集室：☎(03)3817-5774 ✉hokenshi@igaku-shoin.co.jp 担当：和田／杉之尾／伊藤

Twitter <http://www.twitter.com/hokenshiJ> Facebook <http://www.facebook.com/hokenshiJ>

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は医学書院が保有します。

本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

JCOPY (社)出版者著作権管理機構委託出版物

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(社)出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の承諾を得てください。

*「保健師ジャーナル」は株式会社医学書院の登録商標です。